



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.864 2012年12月25日



### 年末のごあいさつ

一般社団法人電波産業会  
事務局長 佐藤 孝平

本年も残すところわずかとなりましたが、会員の皆様方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年も、会員の皆様方のご協力及び総務省をはじめ関係各機関のご支援、ご協力のお陰を持ちまして、当会の諸事業を順調に遂行することができました。心から厚くお礼申し上げます。

さて、本年の当会の主な活動をご紹介しますと、まず、調査・研究・開発業務では、各分野で積極的に取り組んできましたが、このうち機器間通信の標準化では、ARIBを含む日米欧等の標準化機関でoneM2Mが設立されたほか、第4世代移動通信システム（IMT-Advanced）の標準化では、1月に開催されたITU-R無線通信総会（RA-12）で無線インターフェースの勧告が承認されました。

標準規格等の策定及び改定では、規格会議を4回開催し、「700MHz帯高度道路交通システム」、「79GHz帯高分解能レーダー」、「920MHz帯移動体識別用無線設備」、「エリア放送の伝送方式」など計7件の標準規格の策定及び52件の改定並びに4件の技術資料の策定及び22件の改定を行いました。

照会相談業務では、電気通信業務用及び公共業務用の周波数を使用する固定局及び地球局を対象とした回線設計及び混信計算等を実施しておりますが、本年1月から11月末までに959件の処理を行いました。

普及啓発業務につきましては、第23回「電波功績賞」を10団体に授与・贈呈するとともに、電波産業年鑑2012のほか、ARIB機関誌を4回、ARIBニュースを49回発行するとともに、電波利用講演会を2回、電波利用懇話会を12回開催し、電波の利用に関する最新情報の提供を行いました。

また、本年もCEATEC JAPANにおいて独自ブースを設けて最新の事業活動を紹介するとともに、新たな取組としてARIBにおける新技術標準化に関するセミナーを実施しました。デジタルテレビ放送番組のラウドネス運用規定では、国内導入のための技術資料の策定と周知促進活動の展開を行い、日本オーディオ協会の協会大賞を受賞しました。

さらに、総務省をはじめとする関係省庁、放送事業者、企業等と連携し、我が国の地上デジ

タルテレビジョン放送方式（ISDB-T 方式）の国際普及活動にも積極的に取り組み、中南米からアジア、アフリカなどの地域への展開を進めました。

以上述べましたように、本年の当会の事業は順調に遂行されましたが、来年も業務の円滑な実施に向けて、役職員一丸となって積極的に推進して参りたいと存じますので、本年と同様、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様方におかれましては、来年もますますご健勝でご発展されますようお祈り申し上げます、年末のごあいさつといたします。

## ARIBからのお知らせ

### 第 104 回電波利用懇話会のお知らせ 「移動通信技術・サービスの最新動向と今後の展望について」

携帯事業各社は、2012 年秋までに通信速度を高速化した第 3.9 世代移動通信（LTE）サービスを開始し、有線ブロードバンド並みの速度を実現する移動通信サービスが開始されました。また、スマートフォン、タブレット型等多様な端末の急速な普及拡大に伴い、これまで有線で先行してきた高速インターネット接続が、移動通信にも広がるなど、移動通信をとりまく環境に大きな変革が訪れています。

携帯事業各社では、移動通信トラフィックの急速な拡大に対応するため、無線 LAN を活用したオフロード対策を進めるとともに、ITU での国際標準化を受け、第 4 世代移動通信（IMT-Advanced）サービスの実現に向けた研究開発を進めています。また、移動通信と有線ブロードバンドを組み合わせたサービスの提供や国内・海外事業者との提携関係の積極的な構築など、戦略的な取組みを進めています。

新年を迎え、今回の電波利用懇話会では、総務省で移動通信の電波政策に携わっている田原様、携帯事業各社で電波の研究開発や標準化等に携わっている NTT ドコモの梅田様、KDDI の松永様、ソフトバンクモバイルの上村様をお招きして、最新動向と課題についてご講演を頂くとともに、今後の展望についてパネルディスカッションを行います。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようご案内申し上げます。

#### 記

- 1 日 時 : 平成 25 年 1 月 28 日（月） 午後 2 時から 4 時まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室  
東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル 11 階 TEL: 03-5510-8592
- 3 題 名 : 「移動通信技術・サービスの最新動向と今後の展望について」
- 4 プログラム :
  - 第 1 部 講演「移動通信技術・サービスの最新動向と課題」
    - ・総務省 総合通信基盤局 移動通信課長 田原 康生 様
    - ・NTT ドコモ 研究開発センター 無線アクセス開発部 部長 梅田 成視 様

- ・ KDDI 技術開発本部 標準化推進室 副室長 松永 彰 様
  - ・ ソフトバンクモバイル技術統括 標準化推進部 部長 上村 治 様
- 第 2 部 パネルディスカッション「移動通信技術・サービスの今後の展望」
- ・ スピーカ 講演者の皆様
  - ・ 進行 ARIB 事務局

- 5 対 象 : ARIB 正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 70 名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申込先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参加費 : 無料
- 9 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 芝山 まで  
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2012@arib.or.jp

**ARIBの動き**

### 第 86 回規格会議を開催

12月18日(火)に、第86回規格会議を東海大学校友会館(霞が関ビル)において開催しました。

今回は、次に掲げる標準規格の策定2件、改定18件、廃止1件、技術資料の策定1件、改定4件について審議され、すべて提案のとおり決議されました。

- 1 狭域通信(DSRC)基本アプリケーションインタフェース標準規格の策定について
- 2 79GHz帯高分解能レーダー標準規格の策定について
- 3 携帯型無線端末の比吸収率測定法標準規格の改定について
- 4 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Reportの改定について
- 5 IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Reportの改定について
- 6 第二世代小電力データ通信システム/ワイヤレスLANシステム標準規格の改定について
- 7 800MHz帯デジタルMCAシステム標準規格の改定について
- 8 OFDMA / TDMA TDD Broadband Wireless Access System (Next Generation PHS) ARIB STANDARD の改定について
- 9 デジタル簡易無線局の無線設備標準規格の改定について
- 10 時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の無線局の無線設備標準規格の改定について
- 11 LTE-Advanced System ARIB STANDARD の改定について
- 12 WirelessMAN-Advanced System ARIB STANDARD の改定について
- 13 700MHz帯高度道路交通システム標準規格の改定について
- 14 狭域通信(DSRC)基本アプリケーションインタフェース陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験要領技術資料の策定について
- 15 700MHz帯高度道路交通システム陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件技術

資料の改定について

- 16 地域防災無線通信を行う無線局の無線設備標準規格の廃止について
- 17 1125/60方式HDTVビット直列インタフェースにおける補助データの共通規格標準規格の改定について
- 18 CSデジタル放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）の改定について
- 19 525/60テレビジョン方式のビット直列インタフェースにおける補助信号標準規格の改定について
- 20 地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式標準規格の改定について
- 21 デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格の改定について
- 22 セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送の伝送方式標準規格の改定について
- 23 エリア放送の伝送方式標準規格の改定について
- 24 BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料の改定について



第 86 回規格会議の様子

本規格会議において決議された議案の概要を以下に紹介します。

第 86 回規格会議 標準規格及び技術資料の策定、改定及び廃止の概要

規格番号	規格名	概要
ARIB STD-T110 1.0 版	狭域通信(DSRC)基本アプリケーションインタフェース標準規格	本標準規格は、狭域通信 (DSRC: Dedicated Short-Range Communication) システムにおいて、非 IP 系アプリケーションの実行を可能とする基本アプリケーションインタフェースについて策定するものであり、「狭域通信 (DSRC) システム標準規格 ARIB STD-T75」及び「狭域通信 (DSRC) アプリケーションサブレイヤ標準規格 ARIB STD-T88」で規定する DSRC システムにおいて、アプリケーションと ARIB STD-T88 のローカルポートプロトコルとの間に基本アプリケーションインタフェースを規定することにより、

規格番号	規格名	概要
		<p>ISO/IEC7816 に準拠する IC カードへのアクセスなど、非 IP 系アプリケーションの実行に対応するものである。</p> <p>具体的には、以下に示す 6 種類の DSRC 基本アプリケーションについて路車間通信インタフェースを規定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 車載器指示応答アプリケーション</li> <li>2 車載器メモリアクセスアプリケーション</li> <li>3 IC カードアクセスアプリケーション</li> <li>4 プッシュ型情報配信アプリケーション</li> <li>5 車載器 ID 通信アプリケーション</li> <li>6 車載器基本指示アプリケーション</li> </ol>
ARIB STD-T111 1.0 版	79GHz 帯高分解能レー ダー標準規格	<p>本標準規格は、車両から歩行者や自転車等の小さな対象物を高分解能で検知する 79GHz 帯高分解能レーダーに関するものであり、電波法施行規則第 6 条第 4 項第 2 号に基づく特定小電力無線局のうち無線標定業務を行うものである。</p> <p>既存のミリ波レーダーは、車両に搭載され、前方の車両や道路上の障害物を検知して事故を軽減する安全システム並びに後続車両及び斜め前方から接近する車両について注意を喚起するシステム等に用いられているが、本レーダーはこれらに加え、歩行者、自転車等を検知するため、77GHz を超え 81GHz 以下（総務省告示に基づく指定周波数帯は 78GHz から 81GHz）の周波数を使用し、対象物の分離・抽出性能を向上させたものである。</p> <p>なお、各章の概要は、以下のとおりである。</p> <p>第 1 章 一般事項 標準規格の位置付け、適用範囲、準拠文書等を規定。</p> <p>第 2 章 無線設備を用いた標準システム 適用するシステムの構成、システムの運用形態等を規定。</p> <p>第 3 章 無線設備の技術的条件 国の技術基準（強制規格）を含む無線設備の技術的条件を規定。</p> <p>第 4 章 測定法 第 2 章の規定項目ごとの測定法を規定。</p> <p>第 5 章 用語 標準規格で使用する用語を定義。</p>
ARIB STD-T56 3.1 版	携帯型無線端末の比吸 収率測定法標準規格	<p>本標準規格は、携帯電話等の携帯型無線端末について局所吸収指針に対する適合性を評価するための標準測定法を定めたもので、1998 年 1 月に 1.0 版が策定され、2011 年 7 月に比吸収率（SAR）を実際に測定する際の技術要件の詳細及び技術解説等について、IEC の最新規格との整合性を考慮し、改定している（3.0 版）。</p> <p>今回の改定は、情報通信審議会が諮問第 118 号『「携帯電話端末等に対する比吸収率の測定法」のうち「人体側頭部を除く人体に近接して使用する無線機器等に対する比吸収率の測定方法」』を 2011 年 10 月に答申しており、同答申との</p>

規格番号	規格名	概要
		整合性の確保や最新の無線技術動向などを踏まえて記述の適正化等のために改定を行うものである。
ARIB STD-T63 Ver.9.50 及び ARIB TR-T12 Ver.9.50	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report	本標準規格及び技術資料は IMT-2000 DS-CDMA 及び TDD-CDMA システムに関するものであり、第 85 回規格会議（2012 年 9 月）において承認された Ver.9.40 に対して、3GPP TSG 第 57 回会合（2012 年 9 月シカゴ開催）までに承認されたリリース 99 からリリース 10（LTE-Advanced 仕様は含まない。）に対応するように改定するとともに不要発射強度の許容値の緩和を行うものである。
ARIB STD-T64 Ver.6.10 及び ARIB TR-T13 Ver.6.10	IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report	本標準規格及び技術資料は、IMT-2000 MC-CDMA システムに関するものであり、第 85 回規格会議（2012 年 9 月）において 2012 年 6 月までに 3GPP2 が制定した仕様及び技術資料をベースに Ver.6.00 へ改定された。 今回の改定は、2012 年 8 月までに 3GPP2 が制定した仕様及び技術資料に対応するように改定するものである。 技術資料 ARIB TR-T13 については、新規規格の追加や既存規格の改定はないが、ARIB STD-T64 のバージョンアップに合わせてバージョンを Ver.6.10 に改定するものである。
ARIB STD-T66 3.6 版	第二世代小電力データ 通信システム/ワイヤレス LAN システム標準規格	本標準規格は、電波法施行規則第 6 条 4 項第 4 号に規定される小電力データ通信システムの無線局のうち、2,400MHz 以上 2,483MHz 以下の周波数の電波を使用する無線設備であって、主としてデータ伝送のための無線通信を行う「第二世代小電力データ通信システムの無線局の無線設備」、及び「ワイヤレス LAN システムの設備」について規定したものである。 本システムは免許不要局であり、導入時において同じ周波数帯を使用する免許局（アマチュア無線局及び移動体識別装置の構内無線局）への干渉を出来るだけ回避する目的で使用上の注意事項を取扱説明書に記載するとともに同内容を記載したステッカーを用意することを規定していたが、被干渉システムであるアマチュア無線局及び移動体識別装置の構内無線局の運用局数が制定当初に比べて減少したことを踏まえ、ステッカーの規定を削除するよう改定を行うものである。
ARIB STD-T85 1.2 版	800MHz 帯 デジタル MCA システム標準規格	本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 7 の 3 に規定される 800MHz 帯のデジタル MCA 陸上移動通信を行う無線システムについて規定したものである。 今回の改定は、900MHz 帯の再編に伴う省令改正（無線設備規則等の改正、2011 年 12 月）に対応するために行うものである。

規格番号	規格名	概要
ARIB STD-T95 Ver.2.2	OFDMA / TDMA TDD Broadband Wireless Access System (XGP) ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 29 に規定される「時分割・直交周波数分割多元接続方式又は時分割・シングルキャリア周波数分割多元接続方式広帯域移動無線アクセスシステムの無線局の無線設備」について規定されたものであり、2007 年 12 月に Ver. 1.0 が策定された。</p> <p>今回の改定は、2012 年 11 月に XGP Forum が改定した「XGP 標準規格 (A-GN4.00-02-TS Ver.02/Rev.04)」に対応するように改定するものである。また、BWA に関する ITU-R 勧告 M.1801 における表記と整合を図るために本標準規格の名称の一部である (Next Generation PHS) を (XGP) に変更する。</p>
ARIB STD-T98 1.3 版	デジタル簡易無線局の 無線設備標準規格	<p>本標準規格は、電波法施行規則第 4 条第 1 項第 25 号に規定される簡易な無線通信業務を行う無線局において、無線設備規則第 54 条第 2 号に規定される 150MHz 帯及び 400MHz 帯のチャンネル間隔が 6.25kHz の簡易無線局の無線設備について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、150MHz 帯の割り当て周波数が告示されたことに合わせて本標準規格に 150MHz 帯の割り当て周波数等を追加するものである。</p>
ARIB STD-T101 1.2 版	時分割多元接続方式広 帯域デジタルコードレ ス電話の無線局の無線 設備標準規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 8 の 2 の 2 に規定される時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の無線局の無線設備 (DECT 準拠方式) について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、異なる機種の子機との相互接続を行う場合の、我が国の技術基準に基づくキャリア周波数割当表を追加するものである。</p>
ARIB STD-T104 Ver.1.40	LTE-Advanced System ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、いわゆる第 4 世代携帯電話システムである IMT-Advanced System に関する 2 つの標準規格のうちの 1 つである LTE-Advanced System に関するものであり、第 85 回規格会議 (2012 年 9 月) において承認された Ver.1.30 に対して、3GPP TSG 第 57 回会合 (2012 年 9 月シカゴ開催) までに承認されたリリース 10 LTE-Advanced 仕様に対応するように改定するとともに不要発射強度の許容値の緩和を行うものである。</p>
ARIB STD-T105 Ver.1.30	WirelessMAN-Advanced System ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、いわゆる第 4 世代携帯電話システムである IMT-Advanced system に関する 2 つの標準規格のうちの 1 つである WirelessMAN-Advanced System に関するものであり、第 81 回規格会議 (2011 年 9 月) において策定され、第 84 回規格会議 (2012 年 7 月) で必須の工業所有権の実施の権利に係る確認書の提出を受け、Ver.1.20 に改定されている。</p> <p>その後、さらに Ver.1.20 に係る必須の工業所有権の実施の権利に係る確認書 : 19 件、Reference : 32 件の提出があり、当該確認書を追加して Ver. 1.30 に改定するものである。</p>

規格番号	規格名	概要
ARIB STD-T109 1.1 版	700MHz 帯高度道路交通システム標準規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 22 の 2 に規定される「700MHz 帯高度道路交通システムの無線設備」の陸上移動局間及び陸上移動局と基地局との間の無線区間インタフェースについて規定したものである。</p> <p>本年 12 月、総務省では「700MHz 帯高度道路交通システムの陸上移動局の無線設備が自動的に送信又は受信する識別符号を管理する者を定める」告示及び「700MHz 帯高度道路交通システムの無線局に使用する無線設備の技術的条件を定める」告示を公布した。</p> <p>今回の改定は、上記の総務省における制度整備に対応するため、本標準規格に必要な変更を行うものである。</p>
ARIB TR-T22 1.0 版	狭域通信(DSRC)基本アプリケーションインタフェース陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験要領技術資料	<p>本技術資料は、「狭域通信 (DSRC) 基本アプリケーションインタフェース標準規格 ARIB STD-T110 1.0 版」の策定に併せて「陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験要領」をとりまとめたものである。</p> <p>各章の概要は以下のとおりである。</p> <p>第 1 章 一般事項 技術資料の位置付け及び試験区分を記載。</p> <p>第 2 章 相互接続性試験の構成 接続性確認のための試験の目的及び試験構成を記載。</p> <p>第 3 章 接続性確認試験</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 6 つの基本アプリケーションインタフェースについて接続性確認の試験項目を記載。</li> <li>2 6 つの基本アプリケーションインタフェースについて接続性確認の試験パラメータを記載。</li> <li>3 6 つの基本アプリケーションインタフェースについて接続性確認の試験要領を記載。</li> </ol>
ARIB TR-T20 1.1 版	700MHz 帯高度道路交通システム陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件技術資料	<p>本技術資料は、「700MHz 帯高度道路交通システム標準規格 ARIB STD-T109」に併せて「700MHz 帯高度道路交通システム陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件」をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、STD-T109 の改定に伴う試験条件の追加、実態を踏まえた試験内容の見直し及び STD-T109 との用語の統一を行うものである。</p> <p>主な改定事項は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「2.4.2 物理層に関する試験内容」に関連する事項</li> <li>2 「2.4.3 通信制御方式に関する試験内容」に関連する事項</li> </ol>
RCR STD-7 2.1 版 (廃止)	地域防災無線通信を行う無線局の無線設備標準規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 7 条第 9 項第 3 号に規定される地域防災無線通信を行う無線局について規定するものである。</p> <p>無線設備規則の一部改正 (2001 年 7 月 2 日) により、地域防災無線通信を行う無線局の規定が同規則から削除されたところであるが、経過措置として 2011 年 5 月 31 日までの使用期限がついていた。既に使用期限を過ぎてい</p>



規格番号	規格名	概要
		るため、本標準規格の廃止を行うものである。
BTA S-005 C1.1 版	1125/60 方式 HDTV ビット直列インタフェースにおける補助データの共通規格標準規格	本標準規格は、1125/60 方式 HDTV ビット直列インタフェースにおける補助データの共通規格を規定するものであり、SMPTE (The Society of Motion Picture and Television Engineers) 規格 ST 291 に準拠する内容となっていたが、SMPTE において、この規格改定が行われ、補助データパケットによって伝送されるデータの種別を識別するためのデータ識別番号の区分変更、SMPTE 以外の機関からのデータ識別番号・第 2 データ識別番号の申請方法の明確化、規格外補助データとこれに関連する開始パケット、終了パケットの廃止等の規格変更がなされたので、これらの変更を本標準規格に反映することを目的に標準規格 BTA S-005 の改定を行うものである。
ARIB STD-B1 2.2 版	CS デジタル放送用受信装置標準規格(望ましい仕様)	本標準規格は、CS デジタル放送用受信装置の基本的な機能、定格及び性能を規定したものである。 今回の改定は、本標準規格で引用している ETSI の衛星放送の伝送路規格 DVB-S.2 の文書番号の改定及び放送法の改正に伴う省令・告示の改正を踏まえ、所要の変更と追加を行うものである。
ARIB STD-B6 1.2 版	525/60 テレビジョン方式のビット直列インタフェースにおける補助信号標準規格	本標準規格は、SMPTE 規格 ST259 に準拠した 13.5MHz サンプリングの 4:2:2 コンポーネント信号および 4fsc コンポジット信号の 10 ビット直列インタフェースにおける補助信号の共通規格を規定するものであり、SMPTE (The Society of Motion Picture and Television Engineers) 規格 ST 291 に準拠する内容となっていたが、SMPTE において、この規格改定が行われ、補助信号パケットによって伝送されるデータの種別を識別するためのデータ識別番号の区分変更、SMPTE 以外の機関からのデータ識別番号・第 2 データ識別番号の申請方法の明確化、規格外補助信号とこれに関連する開始パケット、終了パケットの廃止等の規格変更がなされたので、これらの変更を本標準規格に反映することを目的に標準規格 ARIB STD-B6 の改定を行うものである。
ARIB STD-B31 2.1 版	地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式標準規格	本標準規格は、地上基幹放送局の行う標準テレビジョン放送等のうち、地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式について規定したものである。 今回の改定は、放送法の改正に伴う省令及び告示の改正を受けて、準拠する省令・告示の修正及び追加を行うと共に、省令・告示の参照先の明確化を行うものである。あわせて、本標準規格に関連する他の標準規格との表記・用語の統一や付属 運用ガイドラインの修正、明確化を行う。

規格番号	規格名	概要
ARIB STD-B32 2.8 版	デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格	<p>本標準規格は 3 部から構成されており、第 1 部はデジタル放送における映像信号と映像符号化方式を規定、第 2 部はデジタル放送における音声信号と音声符号化方式を規定、第 3 部はデジタル放送における伝送信号の多重化方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、第 1 部に新たに「付属 4 フレーム互換方式による 3D 映像サービスの運用ガイドライン」を追加するものである。</p>
ARIB STD-B46 1.3 版	セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送の伝送方式標準規格	<p>本標準規格は、移動体・携帯端末向け地上マルチメディア放送のうち、セグメント連結伝送方式によるもの（ISDB-Tmm 方式）の伝送方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、放送法の改正に伴う省令及び告示の改正を受けて、準拠する省令・告示の修正及び追加を行うと共に、省令・告示の参照先の明確化を行うものである。あわせて、本標準規格に関連する他の標準規格との表記・用語の統一や付属 運用ガイドラインの明確化を行う。</p>
ARIB STD-B55 1.1 版	エリア放送の伝送方式標準規格	<p>本標準規格は、地上一般放送局が行うエリア放送（UHF 帯の周波数のうちホワイトスペースを使用し、1 つの市区町村の一部の区域のうち、特定の狭小な区域における需要に応えるための放送）の伝送方式について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、関連する省令・告示及び標準規格の明確化と定義の追加、並びに本標準規格が準拠する標準規格や関連する他の標準規格との表記・用語の統一を行うとともに、Null 付きワンセグ型及びワンセグ型の AC データ伝送の運用ガイドラインを規定するものである。</p>
ARIB TR-B15 5.9 版	BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、BS デジタル放送局での運用及び BS デジタル放送受信機の機能仕様、並びに、広帯域 CS デジタル放送局での運用及び BS デジタルと広帯域 CS デジタル放送の共用受信機の機能仕様に関し規定したものである。</p> <p>今回の改定は、ARIB STD-B32 の改定（「付属 4 フレーム互換方式による 3D 映像サービスの運用ガイドライン」の追加）に対応するとともに、新局開局完了に伴う注釈の削除などを行うものである。</p>

**第 103 回電波利用懇話会を開催**  
**「次世代高速無線 LAN の導入と無線 LAN の安心な利用に向けて」**

12 月 14 日に、第 103 回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、「次世代高速無線 LAN の導入と無線 LAN の安心な利用に向けて」と題して、総務省総合通信基盤局基幹通信課 白石課長補佐から「次世代高速無線 LAN の導入」について、総務省情報流通行政局 セキュリティ対策室 中谷課長補佐から「一般利用者が安心して無線 LAN

を利用するために」について、2部構成でご講演頂きました。

白石課長補佐からは、無線LAN用周波数と規格の変遷、無線LAN周波数帯の利用状況に関する簡易測定結果、5GHz帯における次世代高速無線LAN（IEEE802.11ac 準拠）の技術的条件及び今後の検討課題等についてご紹介いただきました。また、中谷課長補佐からは、情報セキュリティに関する手引書改訂の背景、無線LAN情報セキュリティ3つの約束、一般利用者が安心・安全に利用するためのガイドライン及び具体例等についてご紹介いただきました。

全体をとおし、約70名の会員の皆様に受講いただき、数多くの質疑応答が行われました。

なお、講演のプレゼンテーション資料については、当会のWebサイト「お知らせ・お問合せの講演会等開催案内 (<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)」において、ダウンロード公開しています。



第103回電波利用懇話会の様子と講師の白石課長補佐、中谷課長補佐

## 第19回アジア・太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF-19）が開催される

アジア太平洋地域における宇宙利用の促進を目的に1993年に設立されたアジア・太平洋地域宇宙機関会議の第19回会議（APRSAF-19）が、「革新的宇宙プログラムを通じて生活を豊かにする」（Enriching the quality of life through innovative space programs）をテーマに、アジア太平洋地域を中心に33カ国、14の国際機関から約400名が参加し、12月11日から14日まで、マレーシアのクアラルンプールで開催されました。本会合に加え、通信衛星利用、地球観測、宇宙環境利用、宇宙教育普及の各分科会で活発な討議が行われました。

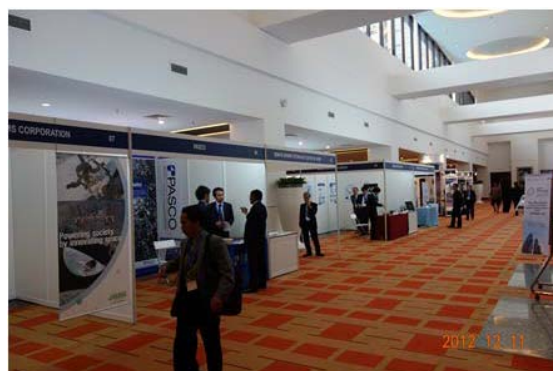
ARIBからは研究開発本部宇宙通信グループ岩船主任研究員が出席し、14カ国から約60名が参加し19件の発表が行われた通信衛星利用分科会で、WINDS利用実験実施協議会の事務局として、5年間にわたる利用実験の実施経緯や結果に加え、遠隔教育、遠隔医療、通信制御方式、電波伝搬の各利用分野から代表的な実験事例の紹介を行いました。

同分科会では、災害時の衛星通信の重要性が再認識される結果となった東日本大震災等での災害救援・復旧等への活用事例が紹介されたほか、各国の通信衛星の開発状況、超大型展開アンテナを衛星に搭載することで地上・衛星共通端末の使用を可能にする地上/衛星統合移動通信技術、静止衛星を活用した衛星測位技術等の最新の研究内容も紹介されました。また、日本の準天頂衛星「みちびき」をはじめ、アジア太平洋地域で利用可能な複数の測位衛星システムを活用して実施されるマルチGNSS（全地球航法衛星システム）実証キャンペーンについて、12月初めに開催された第4回アジア・オセアニアGNSS地域ワークショップで6件の共同実験の実施が決まったことが報告されました。加えて、衛星を活用した船舶自動識別装置（AIS: Automatic Identification System）の各国での活用事例や小型実証衛星によるAIS実証実験の結果が報告されました。

本会合（共同議長：文部科学省 大竹審議官、マレーシア宇宙庁 長官 Dr.Mustafa Din Subari）において各分科会での討議結果、各国からのカントリーレポートに加え、アジア太平洋地域の自然災害監視を目的とした「センチネル・アジア」、地球観測衛星等を用いた地球環境変動の監視に関するSAFE（Space Application for Environment）、気候変動情報ニーズの把握に関するClimate R<sup>3</sup>（The Regional Readiness Review for Key Climate Mission）、国際宇宙ステーション「きぼう」を利用したアジア協力に関するKibo-ABC（Asian Beneficial Collaboration through "Kibo" Utilization）の各イニシアティブの活動状況が報告されました。次回の会議は、2013年12月3日～6日の日程で、ベトナムのハノイで開催される予定です。



通信衛星利用分科会の様子



展示ブースの様子



開催案内表示



通信衛星利用分科会で発表する岩船主任研究員

## 第 199 回技術委員会（通信・放送合同）を開催

第 199 回技術委員会(通信・放送合同)を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成 24 年 12 月 19 日(水) 16 時から 17 時 30 分まで
- 2 場所 当会第 2 会議室
- 3 議事概要
  - (1) 電波産業年鑑 2012 の発行について
  - (2) 第 29 回 XGP フォーラム定期年次総会の結果について
  - (3) 無線 LAN システム調査研究会 中間報告について
  - (4) ISDB-T 国際普及活動の最近の状況について
  - (5) ITU-R SG5 関連会合及び JTG4-5-6-7 会合の主要結果について
  - (6) 日本オーディオ協会賞 協会大賞の受賞について
  - (7) APT 研修「次世代移動通信システム実現に向けた取り組み」の実施について
  - (8) oneM2M Technical Plenary 会合の結果について
  - (9) 標準規格に係る必須の工業所有権 (IPR) をめぐる国際動向について

### 編集後記

日本全国各地の名産・特産物はいろいろありますが、ARIB が事務所を構える東京で江戸時代から続いている名産物は「江戸前寿司」「蕎麦」「天ぷら」「鰻井」「深川井」「佃煮」「べったら漬」「くさや」等々。食いしん坊の私は鰻も大好きです。

新宿の市ヶ谷一牛込神楽坂の中間あたりにある「鰻坂」というところに、いかにも江戸時代から続いているような鰻屋が一軒あります。縁あってこのお店で御馳走になりましたが、お値段は鰻重で 2 千円から 4 千円超程度まで。私のような安サラリーマンにはかなりな贅沢でしたが久しぶりの鰻を堪能しました。鰻は東京に限らず、全国で食することが出来、蒲焼、白焼き、鰻重、櫃まぶし、茶漬け、まむし井、う雑炊、う巻き、かぶと焼き等々、料理もお国柄で種々ありますが、東京の鰻はお勧めです。「目黒の秋刀魚」ならぬ「鰻坂の鰻」と言ったところでしょうか。

話は変わりますが、2010 年 9 月の産経新聞に「2 億年前のジュラシックウナギ 新種…パラオの海底洞窟で発見」という記事がありました。この発見された鰻は、成魚で黒褐色、全長は最大約 20 センチ。特異な形態を持っており、約 2 億年前の中生代三畳紀後期からジュラ紀前期に、現存する鰻類と枝分かれした最も原始的な鰻と分かったということです。この鰻は食べたら罰が当たるような気がします。

皆様方には今年 1 年大変お世話になりまして厚く御礼申し上げます。今年も残り少なくなってきました。皆様よい年をお迎えください。  
(山田)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)